

ツキノワグマ (*Ursus thibetanus japonicus*)



クマ棚



クマ棚の周りにできた
枝葉のない空間のギャップ



※ 写真は全て軽井沢町・長倉山国有林で撮影

長野大学「恵みの森」で動くプロジェクト

利用価値を失った里山／中山間地域の衰退

里山再生のための研究

表とともに生きる地域社会の未来を拓く
AUN長野大学恵みの森再生プロジェクト

森の生態系サービス(=森の恵み)
を地域社会の持続的発展に活かす

人と森の新たな関係を築く!

- ◆ 森林の伝統的な価値の再生
- ◆ 新たな森林の価値の創出

(2007年5月～)

里山再生のための人材育成

森の生態系サービスの活用を学ぶ環境教育

長野大学

森の恵みクリエイター養成講座

森の恵みクリエイター養成講座
(2008年12月～)

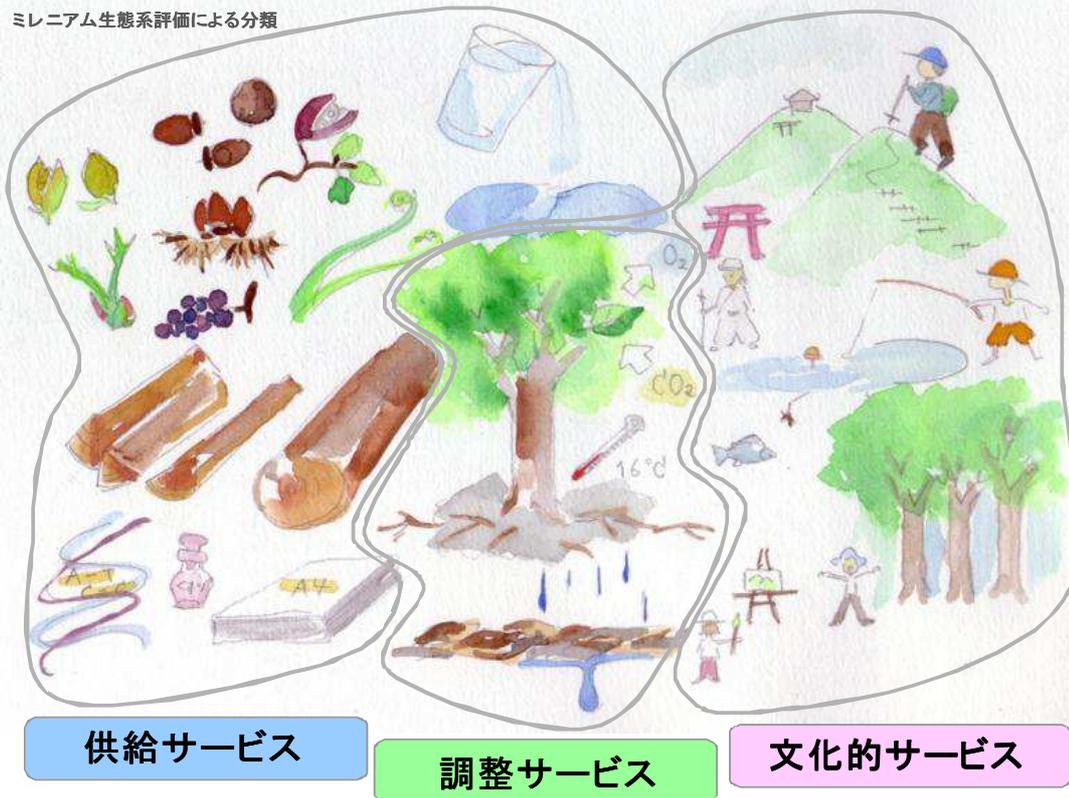
相互作用

里山再生／持続可能な地域社会の再生

新しい森と人の関わり構築 ⇔ 生態系サービスの再生、活用、保全

人間社会を支えている森の生態系サービス

ミレニアム生態系評価による分類



供給サービス

木の実・山菜・キノコなどの食料／水／木材資源／紙／化学物質(薬)／遺伝子資源など

調整サービス

CO2の吸収固定／気温の緩和、土砂崩れ・土壌流出の防止／水の浄化／保水／病気の制御／花粉運搬など

文化的サービス

ハイキング・登山・キャンプ・釣り・絵画・ポエムなどのレクリエーション・レジャーの場の提供／環境教育の場／森林浴／精神的・宗教的な価値など

生態系サービスとは、生態系が人間に提供しているモノ・機能(恵み)

里山再生ツールキット

■ 地域社会に活用されたツール

① 野生果樹の植樹祭(塩田西小学校)



② 草木染めワークショップ(塩田西小学校)



③ 堆肥づくりカブトムシ幼虫の飼育(上田市「道と川の駅」)



■ 活動の目的: 里山再生に役立つ知識・技術をまとめた「里山再生ツールキット」を、長野大学「森の恵みクリエイター養成講座」(人材育成プロジェクト)と「AUN長野大学恵みの森プロジェクト」(研究プロジェクト)を通じて開発し、持続可能な社会の構築に貢献すること。

■ 活動の成果: ①開発したツールが地域社会から活用・評価され、浮かび上がった問題点を改善することによって、ツールをブラッシュアップする枠組みが構築できた。②次世代を担う学生のアイデアによって、時代のニーズに合致した魅力的な里山再生ツールが生まれつつある。

😊 森の恵みクリエイター

資格取得者
I 種3名
II 種6名



■ 開発されたツール

- 野生果樹の栽培
- 堆肥づくり
- 樹皮剥ぎ
- 巣箱かけ
- ため池の造成
- キノコ栽培
- 野生果樹の生態と活用を学ぶ環境教育プログラム
- オオムラサキをシンボルとした生態系サービスの再生
- 草木染めワークショップ
- キツツキのエコツアー
- ニホンミツバチ養蜂
- アロマオイルを活用した森林再生
- 野生果樹を楽しむガイドブック

ツール開発



↑ ツール改善



ツール評価

「森クリ講座」専用Webサイト

森の恵みクリエイター 検索

URL: <http://gp-morinomegumi.nagano.ac.jp/>

■ 森クリ講座とは？
まずは「教材ビデオ」を、
ご覧ください。⇒

平成20年度～22年度 文部科学省「森の恵みの森プロジェクト推進プログラム(教育GP)」

長野大学 森の生態系サービスの活用を学ぶ環境教育 成果報告書 平成20～22年度

成果報告シンポジウム 平成23年 1.22 (土) 長野大学リプロホール

森の生態系サービスの活用を学ぶ環境教育とは
これからの社会において、日本の国土の67%を占める森をめぐれる活動は、地域づくりの現場でも、企業でも、行政でも、NPOでも、ますます大切な活動になっていきます。森を上手に「管理」しながら、森の恵みを活かすことができる人は、これからの社会にも必要とされる人材です。

森の生態系サービスの活用を学ぶ環境教育「森の恵みクリエイター養成講座」は、AUN長野大学恵みの森を舞台とした「体験型の学校」をつつじて、学生それぞれが森とのかかわりを探求し、「森の生態系サービス＝森の恵み」を保全・再生・活用、森の新しい価値を生み出し、地域の発展に貢献することができる人材を育てる環境教育プログラムです。「森の恵みクリエイター養成講座」では、森の恵みに関する知識や技術の習得、森への愛着を醸成するためには、長野大学独自の「森の恵みクリエイター養成講座」を充実させます。

そして、この講座を通して、多種なバックグラウンドを持つ学生が将来それぞれの社会的役割とキャリアの中で森とのかかわり続け、森の新しい価値を生み出し、森林生態系の保全と持続可能な社会づくりを推進していくことを目指しています。

「森の生態系サービスの活用を学ぶ環境教育」についての詳細はこちらをご覧ください。
PDR資料はこちら

・パードウォッチングのための森づくり～単箱づくりと単箱かけ、シジュウ... (2012/06/15)
2012年6月15日(金)、入門セミナー(高橋一秋先生)の授業の中で、選択の野外実習「パードウォッチングのための森づくり～単箱づくりと単箱かけ、シジュウカラの観察」が実施されました。今回の実習では、恵みの森...
・SNSによる情報共有の練習問題～森の恵み探検隊！～ (2012/06/13)